2027年３月期 第２四半期

決算概要 単体

2026年11月10日

筑波銀行
Tsukuba Bank

東証プライム:8338

目次

筑波銀行 Tsukuba Bank

決算サマリー	2
損益の状況	3
コア業務純益の推移	4
貸出金・預金利息の推移	5
役務取引等収益の推移	6
貸出金の状況	7
預金・預り資産の状況	8
有価証券の状況	9
不良債権・与信関係費用の状況	10
経費・コアOHRの状況	11
自己資本比率・ROEの状況	12
業績予想	13

＊銀行単体の数値をもとに作成しています。

決算サマリー　単体

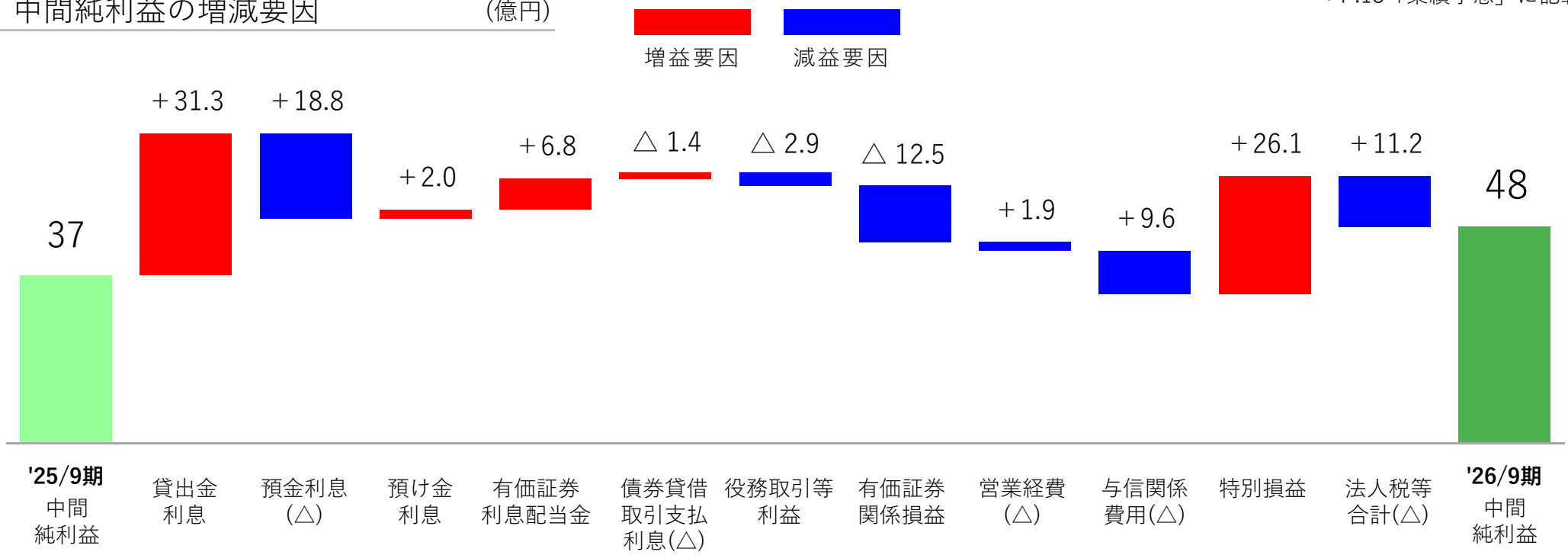
筑波銀行 Tsukuba Bank

・中間純利益は前年同期比11億円増益の48億円。中間期として最高益を更新。
・国内金利の上昇を背景に資金利益が増加するなど本業収益の増加基調が続いていることに加え、退職給付信託返還益を特別利益に計上したことが中間純利益の増加に寄与。

	2026年9月期	前年同期比	増減率	通期業績予想*に対する進捗率
経常収益	**301億円**	＋63億円	26.6%	―
経常利益	**36億円**	△ 3億円	△ 8.9%	45.5%
中間純利益	**48億円**	＋11億円	30.2%	51.6%

＊P.13「業績予想」に記載

中間純利益の増減要因　（億円）



損益の状況 単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	前年同期比	増減率
業務粗利益	**14,800**	**13,506**	**△ 1,293**	**△ 8.7%**
(除く国債等債券損益)	16,582	18,219	+1,637	
資金利益	14,074	16,019	+1,945	
うち貸出金利息	13,641	16,776	+3,134	
うち有価証券利息配当金	2,440	3,122	+681	
うち預け金利息	469	669	+200	
うち預金利息(△)	2,271	4,154	+1,883	
役務取引等利益	2,334	2,038	△ 295	
その他業務利益	△ 1,608	△ 4,552	△ 2,943	
うち国債等債券損益	△ 1,781	△ 4,712	△ 2,930	
経費(除く臨時処理分)(△)	11,907	12,423	+516	
実質業務純益	2,892	1,082	△ 1,810	
コア業務純益	**4,674**	**5,795**	**+1,120**	**23.9%**
(除く投資信託解約損益)	4,547	5,721	+1,173	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	―	1	+1	
業務純益	2,892	1,081	△ 1,811	
臨時損益	1,161	2,608	+1,446	
うち株式等関係損益	793	2,466	+1,672	
うち不良債権処理額(△)②	131	1,095	+963	
経常利益	**4,052**	**3,689**	**△ 363**	**△ 8.9%**
特別損益	△ 58	2,555	+2,613	
税引前中間純利益	3,994	6,244	+2,250	
法人税等合計(△)	264	1,385	+1,121	
中間純利益	**3,729**	**4,859**	**+1,129**	**30.2%**

与信関係費用 ①+②	131	1,096	+964	

決算のポイント

業務粗利益 135億円（前年同期比 △ 12億円）
コア業務純益 57億円（前年同期比 +11億円）

- 資金利益の増加
  - ✓ 貸出金利息は、貸出金利回りの上昇や残高増加により増加
  - ✓ 有価証券利息配当金は、国内債券を中心に有価証券利回りの上昇により増加
  - ✓ 預金利息は、預金金利の引上げに伴い増加
- その他業務利益の減少
  - ✓ 国債等債券売却損は、有価証券ポートフォリオの改善に向けた国内債券等のロスカットに伴い増加

経常利益 36億円（前年同期比 △ 3億円）

- コア業務純益の増加
- その他業務利益(国債等債券損益)の減少
- 与信関係費用の増加

中間純利益 48億円（前年同期比 +11億円）

- 特別損益の増加
  - ✓ 退職給付信託返還益を特別利益に計上

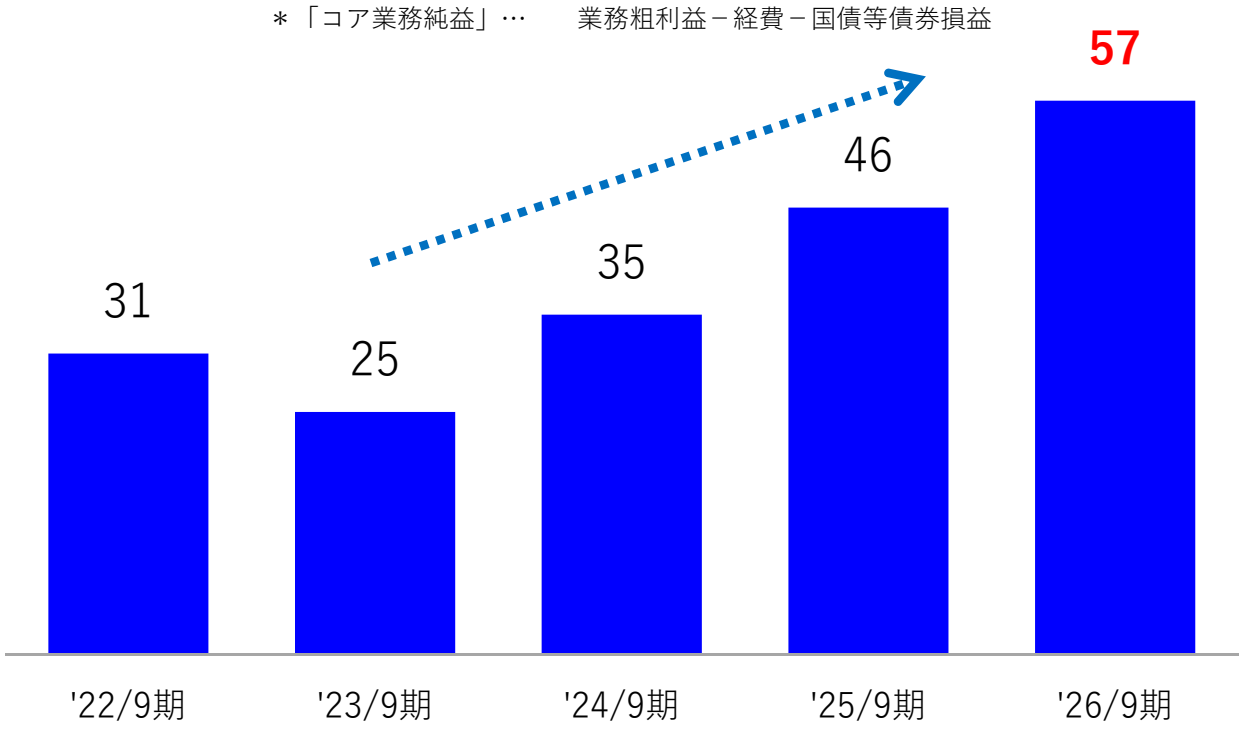
コア業務純益の推移　単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

コア業務純益 *

(億円)

＊「コア業務純益」…　業務粗利益－経費－国債等債券損益

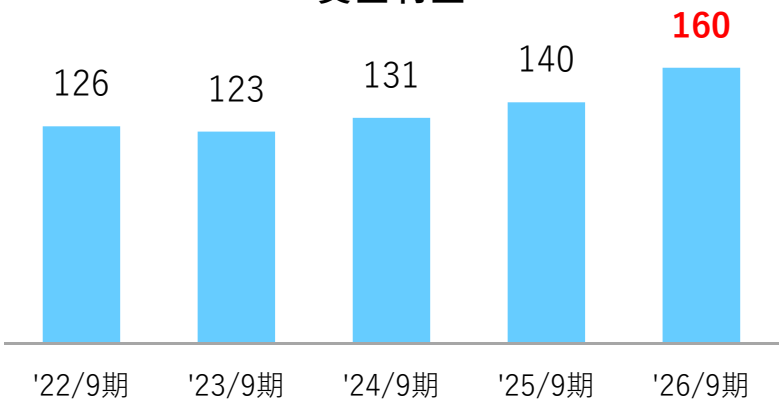


主な増減要因

・コア業務純益は貸出金利息を中心とした資金利益の増加等により前年同期比+11億円の**57億円**となり、中間期として最高益を更新
・資金利益は貸出金利息や有価証券利息配当金の増加等により前年同期比+19億円の**160億円**
・経費は人的資本への投資等により前年同期比＋5億円の**124億円**

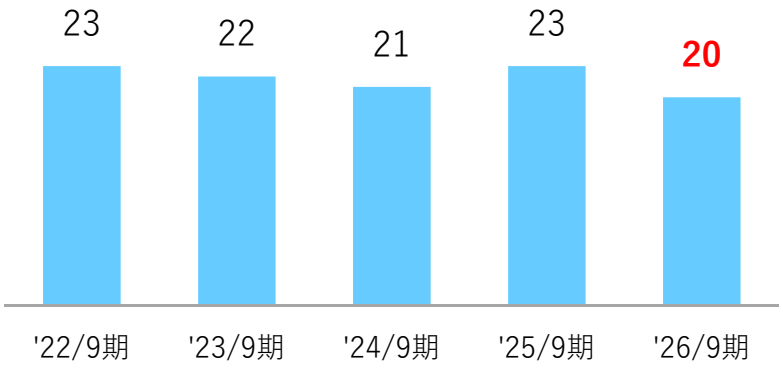
資金利益

(億円)



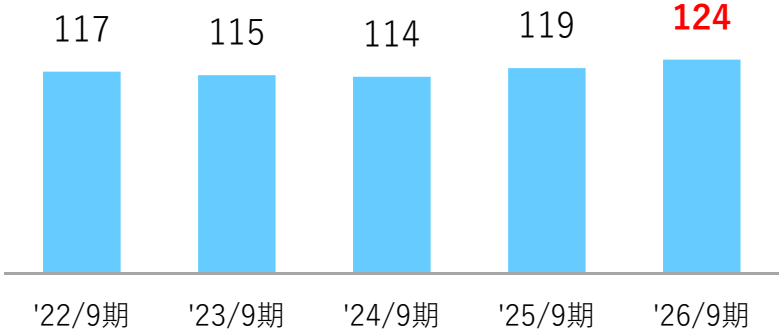
役務取引等利益

(億円)



経費

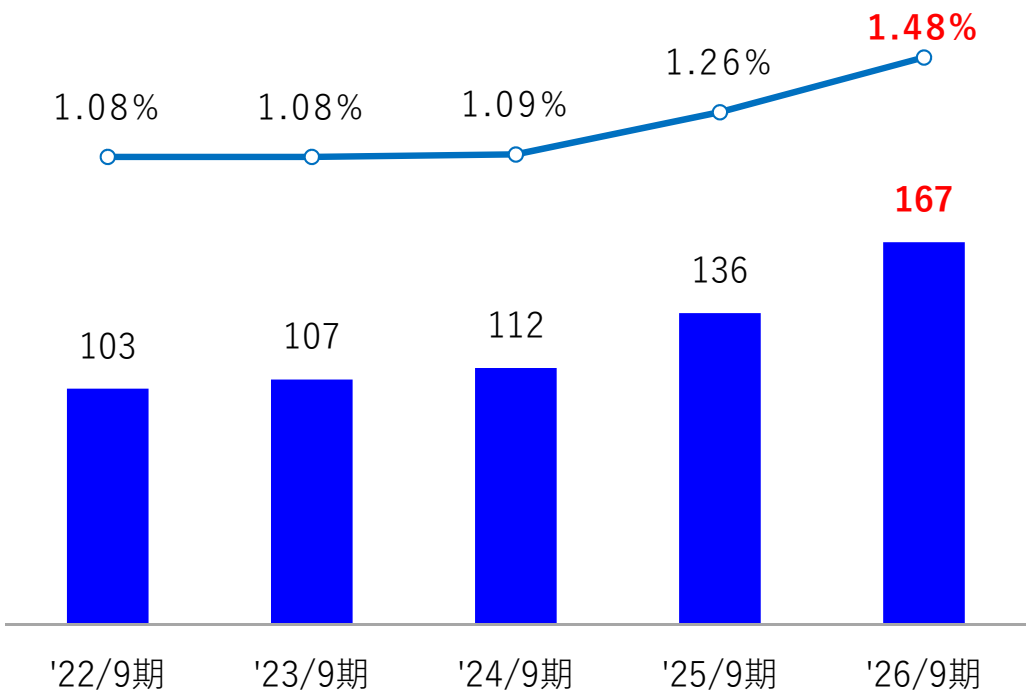
(億円)



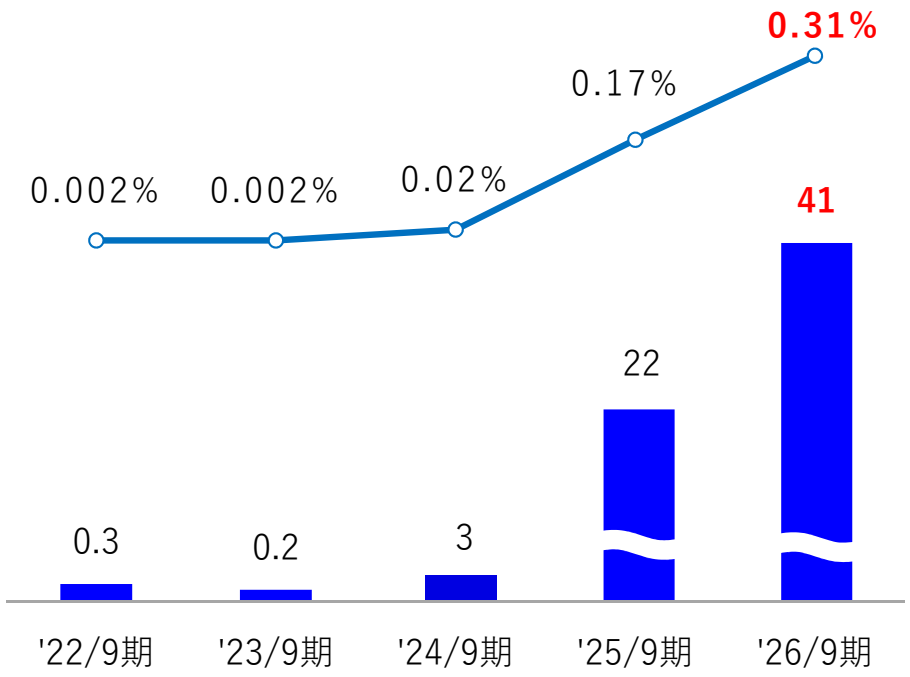
貸出金・預金利息の推移 単体

	2026年9月期	前年同期比	主な増減要因
貸出金利息	**167億円**	＋31億円	・国内金利の上昇に伴う貸出金利回りの上昇や貸出金平残の増加により、前年同期比+31億円の**167億円** ・貸出金利回りは同+0.22ポイント上昇の**1.48%**
預金利息	**41億円**	＋18億円	・預金金利引上げにより、前年同期比+18億円の**41億円** ・預金利回りは同+0.14ポイント上昇の**0.31%**

貸出金利息・貸出金利回り



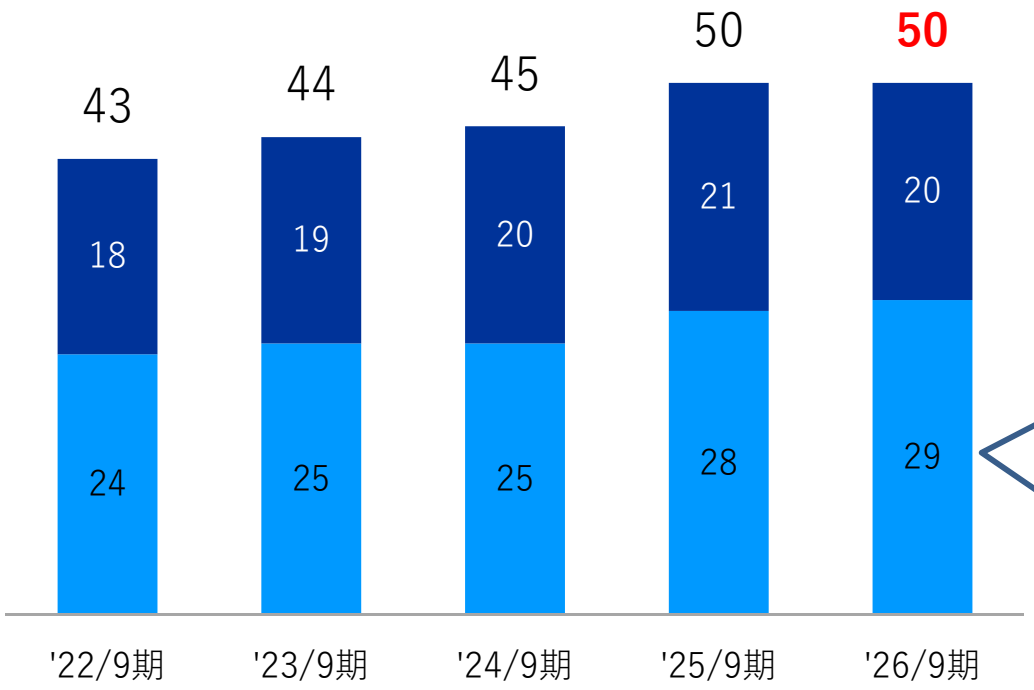
預金利息・預金利回り



役務取引等収益の推移 単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

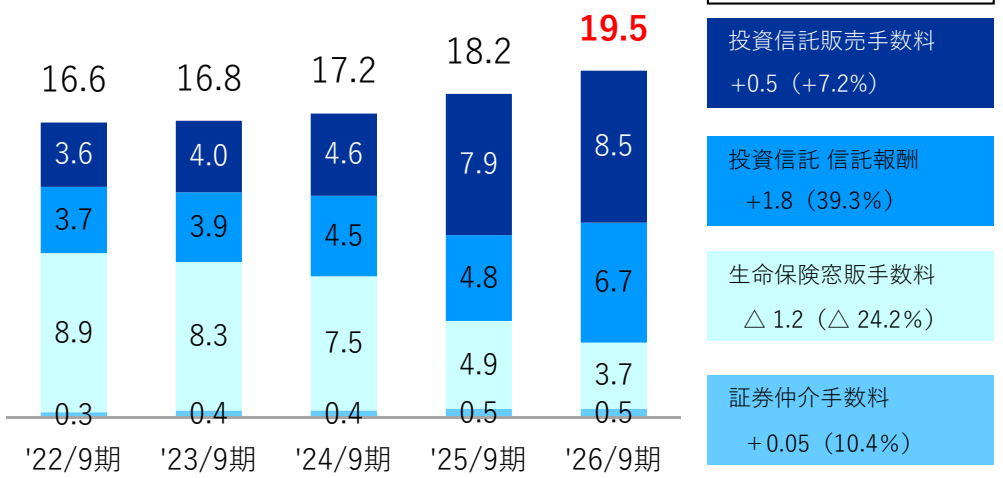
役務取引等収益



主な増減要因

- 役務取引等収益は、5期連続で増加基調を維持
- 預り資産関連手数料は、投資信託販売手数料・信託報酬の増加により前年同期比+1億円の**19億円**
- 法人関連手数料は、融資組成手数料は減少したが、事業承継・M&A手数料の増加等により前年同期並みの**9億円**を維持

預り資産関連手数料



前年同期比

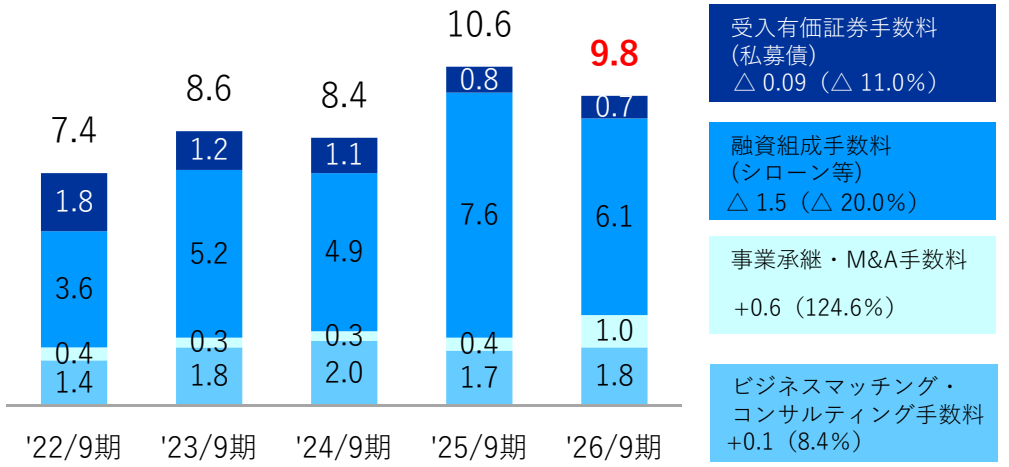
投資信託販売手数料
+0.5（+7.2%）

投資信託 信託報酬
+1.8（39.3%）

生命保険窓販手数料
△ 1.2（△ 24.2%）

証券仲介手数料
＋0.05（10.4%）

法人関連手数料



前年同期比

受入有価証券手数料
(私募債)
△ 0.09（△ 11.0%）

融資組成手数料
(シローン等)
△ 1.5（△ 20.0%）

事業承継・M&A手数料
+0.6（124.6%）

ビジネスマッチング・
コンサルティング手数料
+0.1（8.4%）

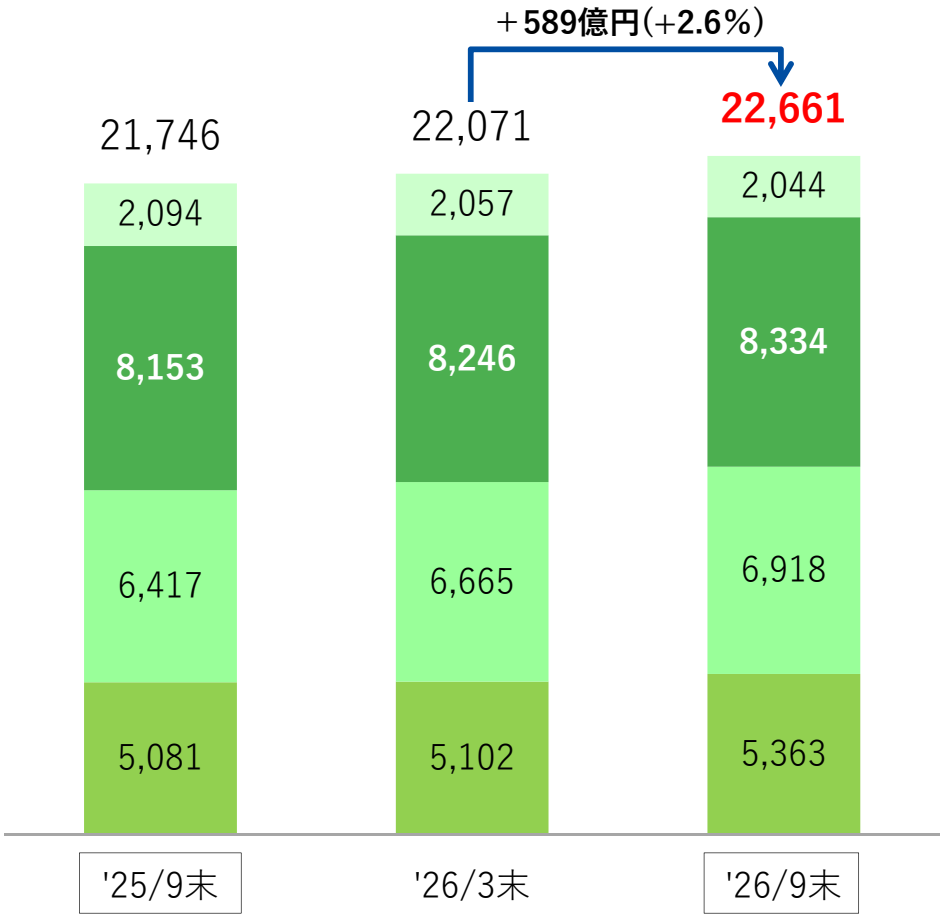
貸出金の状況 単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

	2026年9月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
貸出金残高	**22,661億円**	＋589億円	2.6％	前年度末比+589億円の**2兆2,661億円**(+2.6％) 過去ピークの実績を更新 ・地方公共団体向け貸出、住宅ローンを中心に増加基調を維持 ・住宅ローンは人口増加や住宅着工が続くTX沿線を中心に住宅資金ニーズを積極的に捉え、前年度末比＋231億円

貸出金残高

(億円)

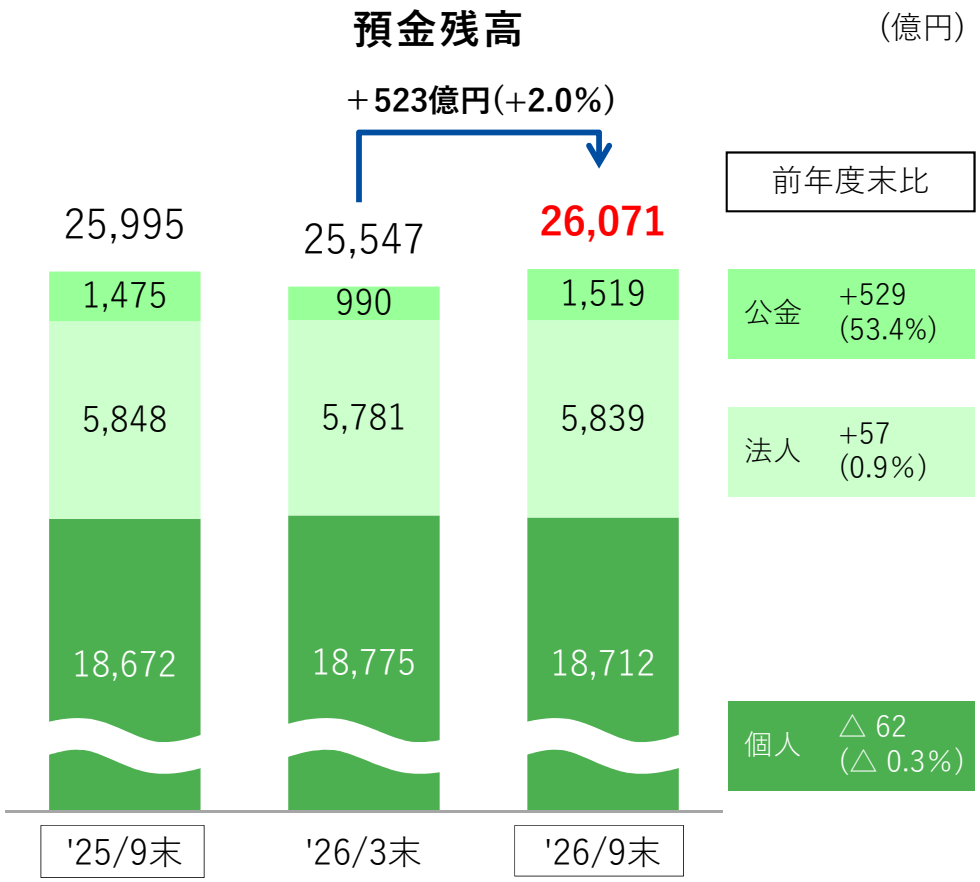


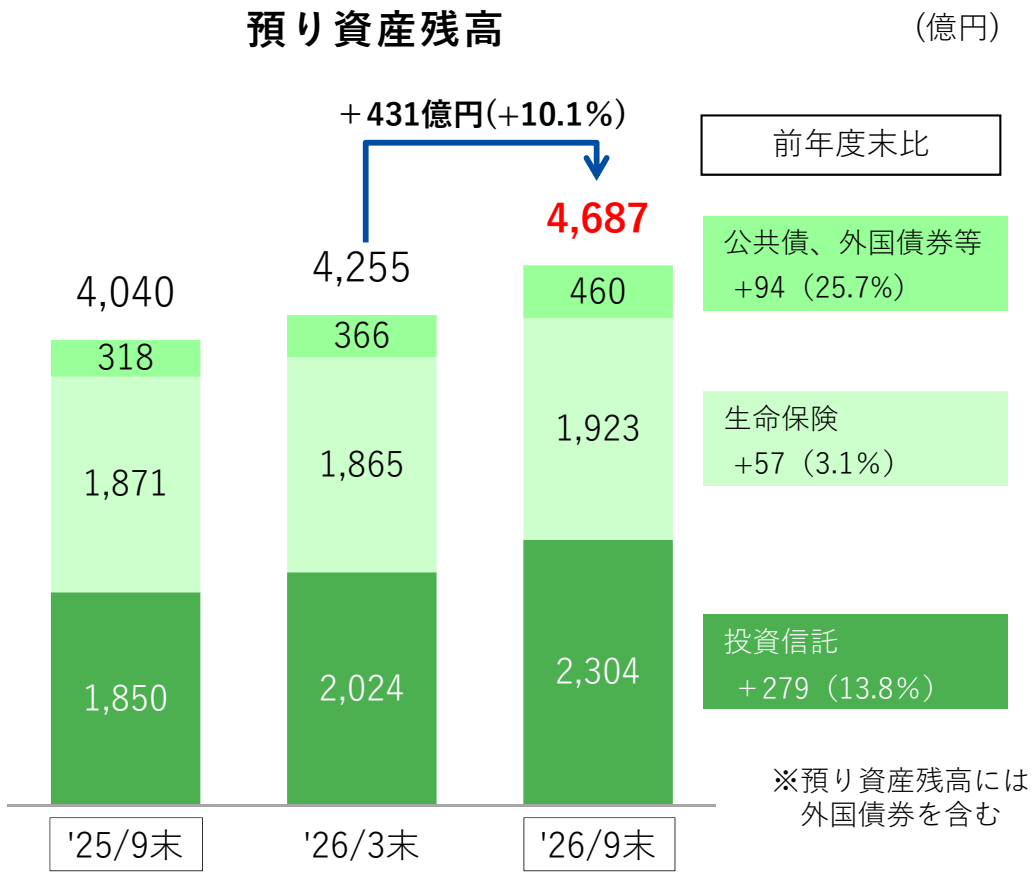
前年度末比	
大中堅企業向け	△ 12（△ 0.6%）
中小企業貸出	**＋88（1.0%）**
消費者ローン (住宅ローン等)	＋253（3.7%）
地方公共団体向け その他	＋261（5.1%）

預金・預り資産の状況 単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

	2026年9月末	前年度末比	増減率	主な増減要因
預金残高	**26,071億円**	＋523億円	2.0％	・前年度末比+523億円の**2兆6,071億円**(+2.0%) 公金預金・法人預金が増加
預り資産残高	**4,687億円**	＋431億円	10.1％	・前年度末比+431億円の**4,687億円**(+10.1%) 投資信託、生命保険、公共債いずれも増加
合計	**30,759億円**	＋955億円	3.2％	・預金と預り資産の合計残高は3兆円を超え、過去ピークの実績を更新





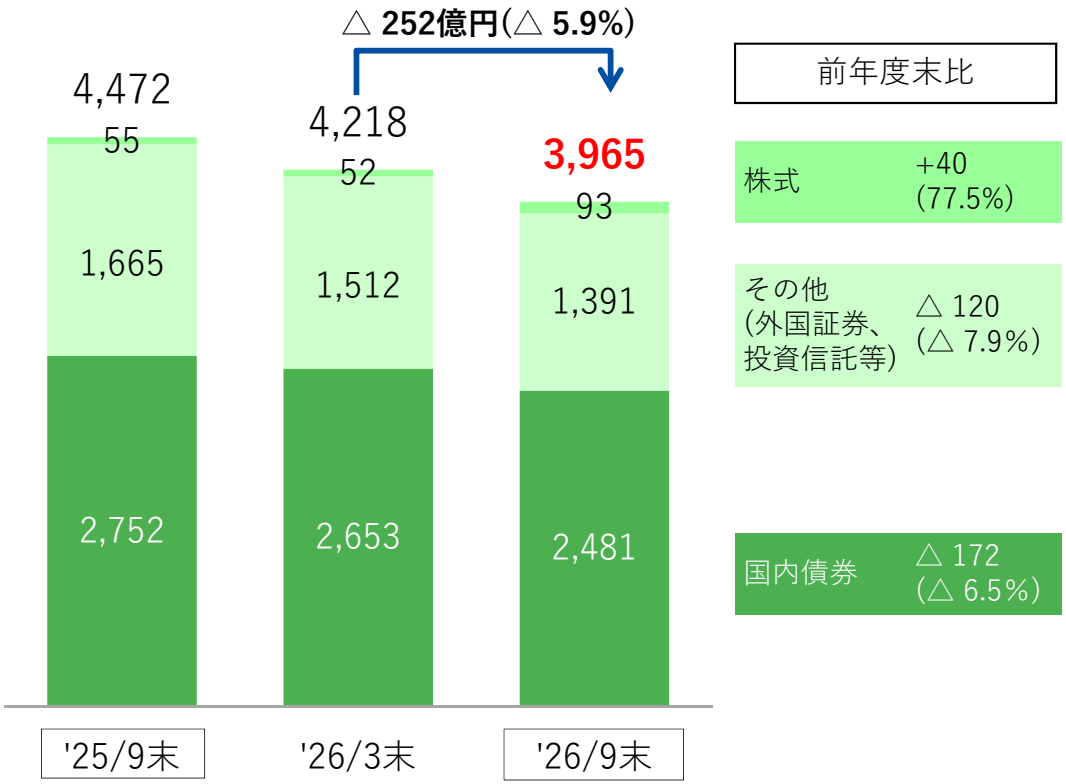
※預り資産残高には外国債券を含む

有価証券の状況 単体

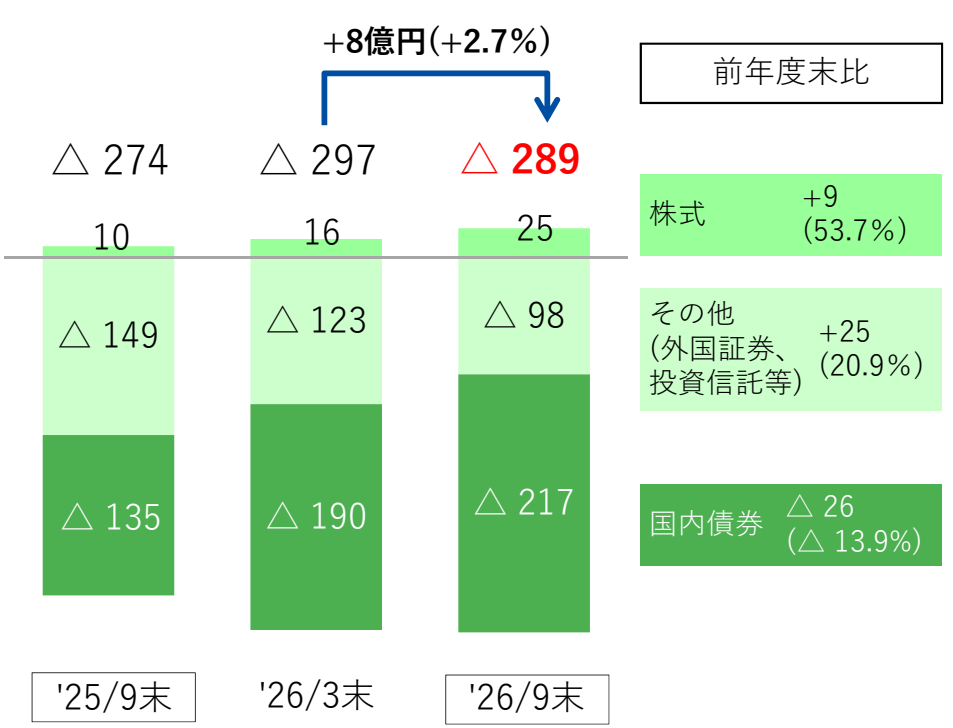
筑波銀行 Tsukuba Bank

	2026年9月末	前年度末比	主な増減要因
有価証券残高	**3,965億円**	△ 252億円	・前年度末比△252億円の**3,965億円**(△5.9%) 国内債券・投資信託のポジション圧縮により減少
その他有価証券評価損益	**△ 289億円**	＋8億円	・前年度末比+8億円の**△289億円**(+2.7%) 有価証券評価損の削減に向けたロスカットの実施や株価上昇により投資信託の評価損が減少

有価証券残高



その他有価証券評価損益

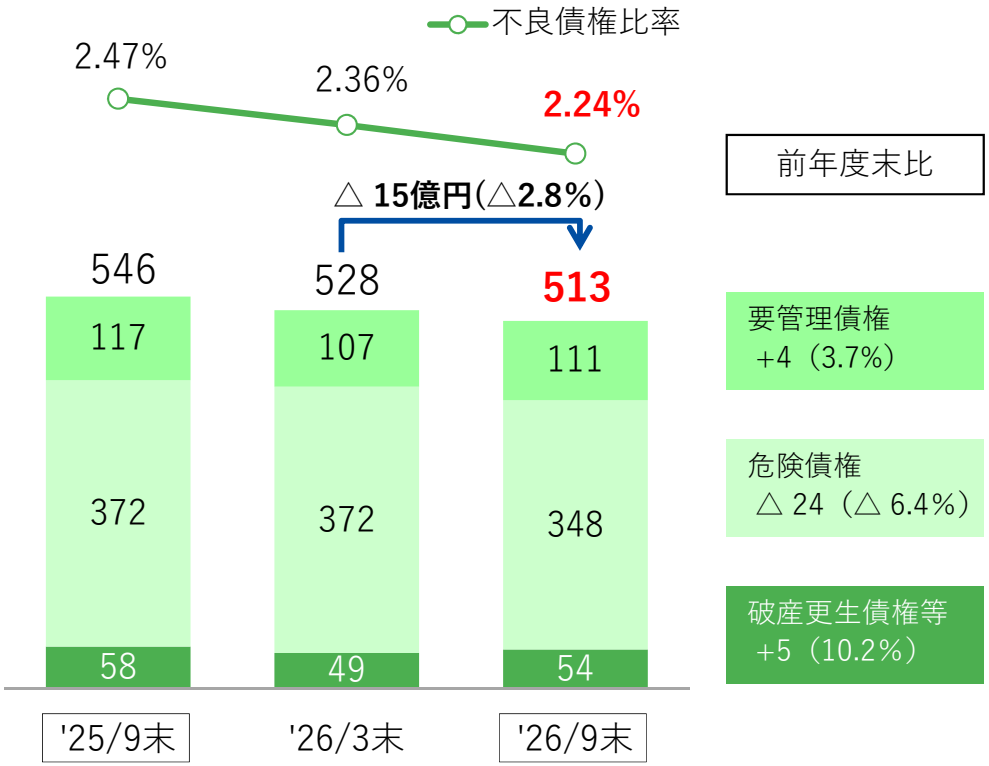


不良債権・与信関係費用の状況 単体

筑波銀行 Tsukuba Bank

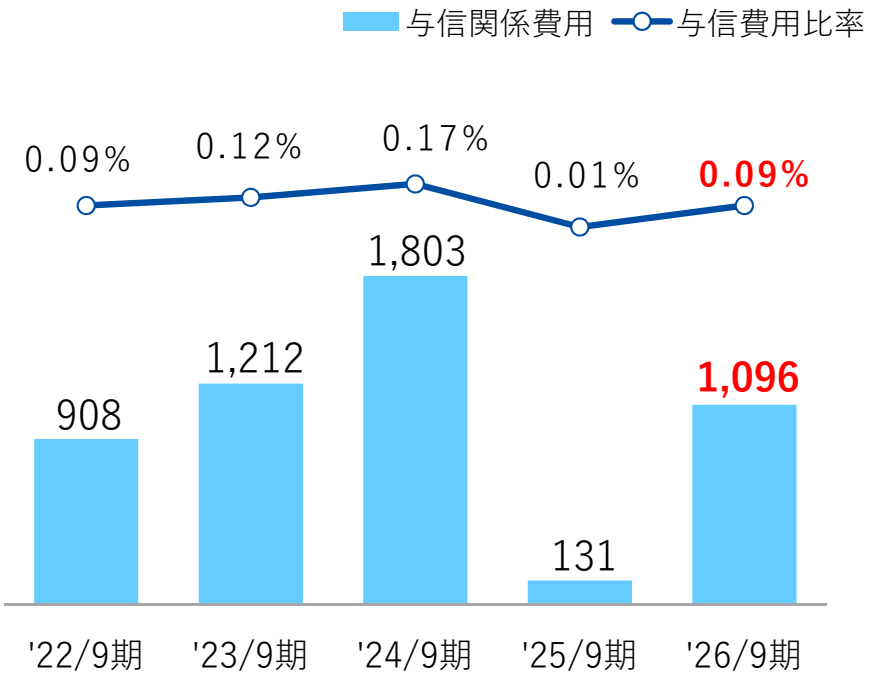
	2026年9月末	前年度末比／前年同期比	主な増減要因
金融再生法開示債権残高	**513億円**	△ 15億円	・危険債権の減少等により前年度末比△15億円の**513億円**(△2.8%)
不良債権比率	**2.24%**	△ 0.12%	・金融再生法開示債権の減少により前年度末比△0.12ポイントの**2.24%**
与信関係費用	**1,096百万円**	＋964百万円	・前年同期比+964百万円の**1,096百万円** 前年同期に計上した貸倒引当金戻入益の剥落

金融再生法開示債権残高・不良債権比率 (億円)



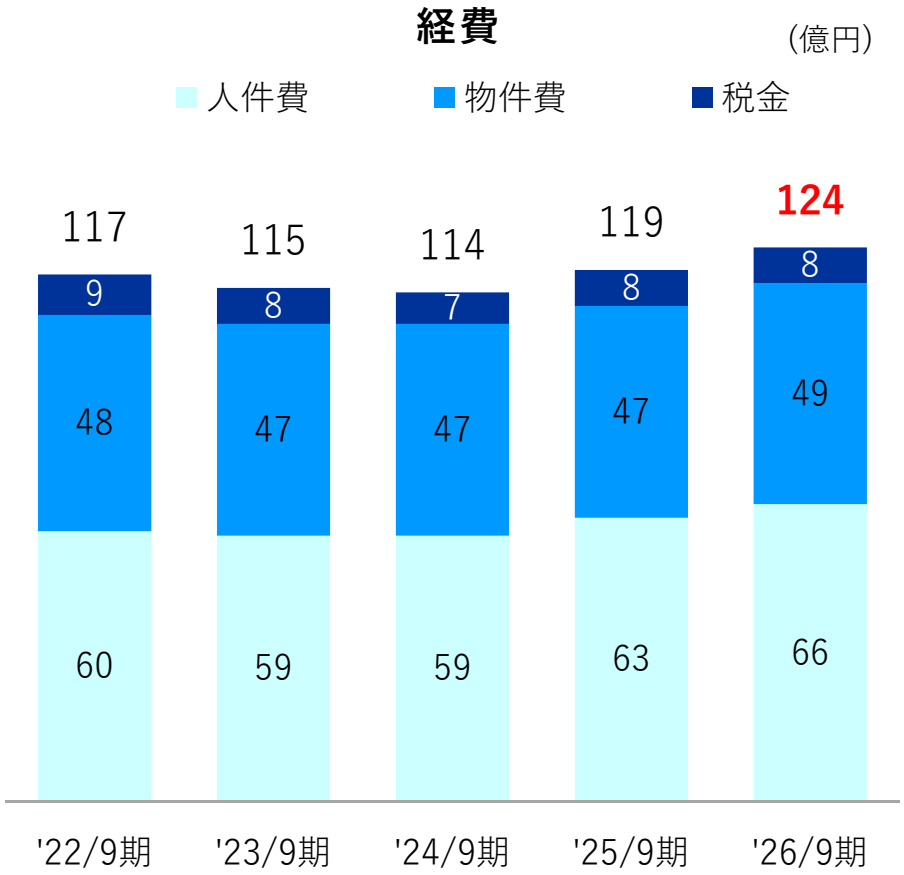
与信関係費用* (百万円)

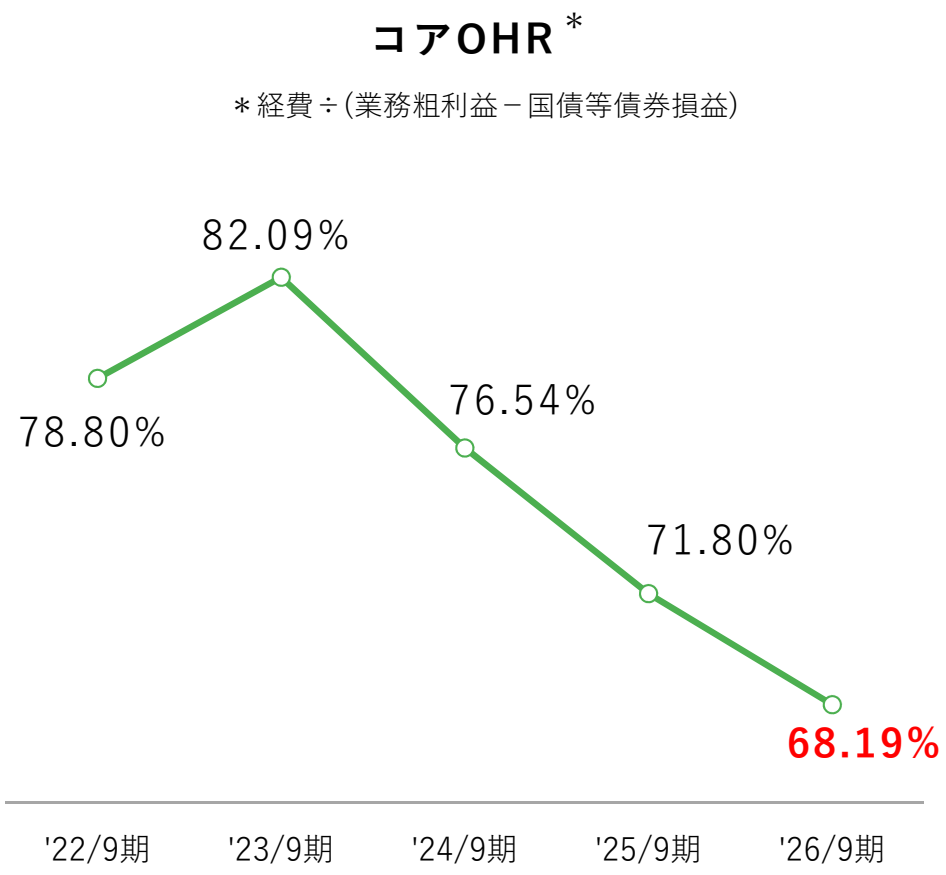
＊与信関係費用÷貸出金平残(年率換算)



経費・コアOHRの状況 単体

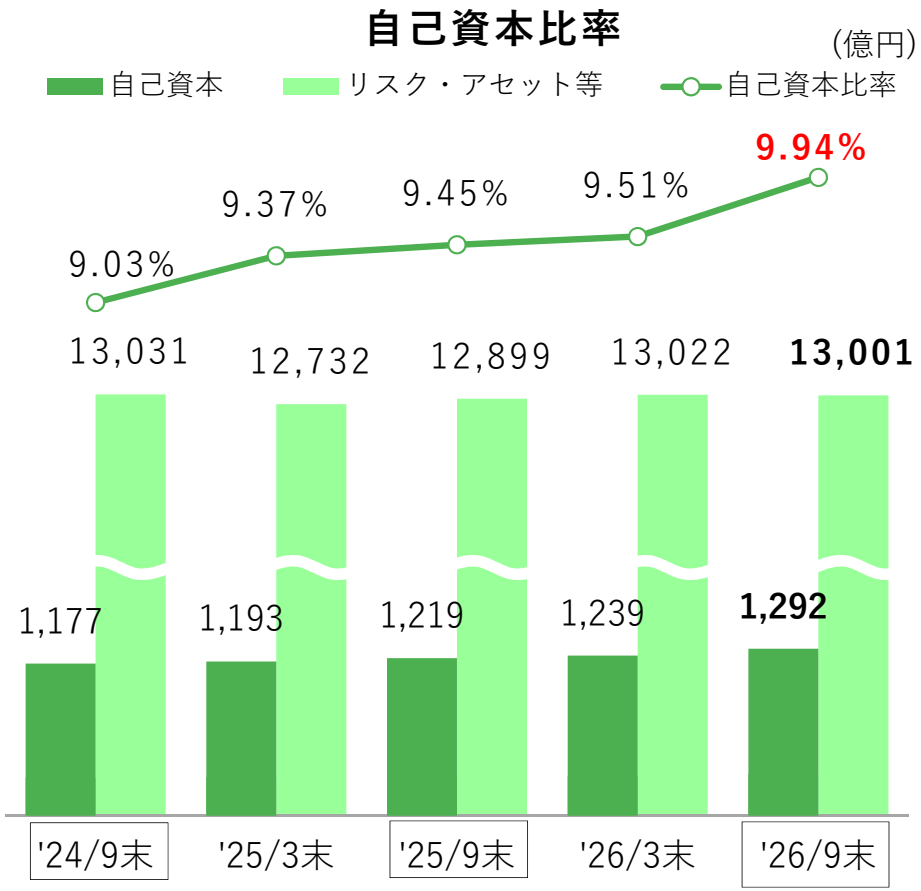
	2026年9月期	前年同期比	主な増減要因
経費	**124億円**	＋5億円	・前年同期比＋5億円の**124億円**（増減率＋4.3％） 人的資本への投資等に伴い人件費が増加
コアOHR	**68.19％**	△ 3.61％	・前年同期比△3.61ポイントの**68.19％** 経費は増加したものの、貸出金利息の増加を中心に資金利益が増加し、60％台へ低下

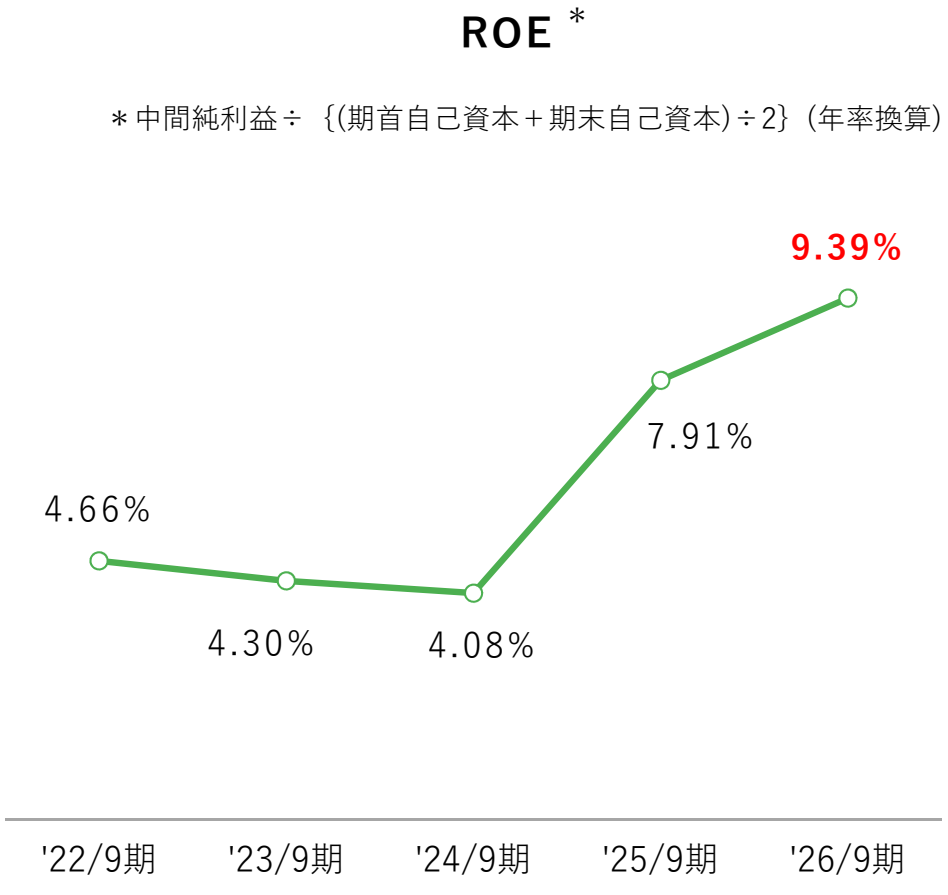




自己資本比率・ROEの状況 単体

	2026年9月末	前年度末比／前年同期比	主な増減要因
自己資本比率	**9.94%**	＋0.43%	・前年度末比＋0.43ポイントの**9.94%** 中間純利益48億円計上等に伴い自己資本が増加
ROE	**9.39%**	＋1.48%	・中間純利益の増加に伴い前年同期比＋1.48ポイントの**9.39%**





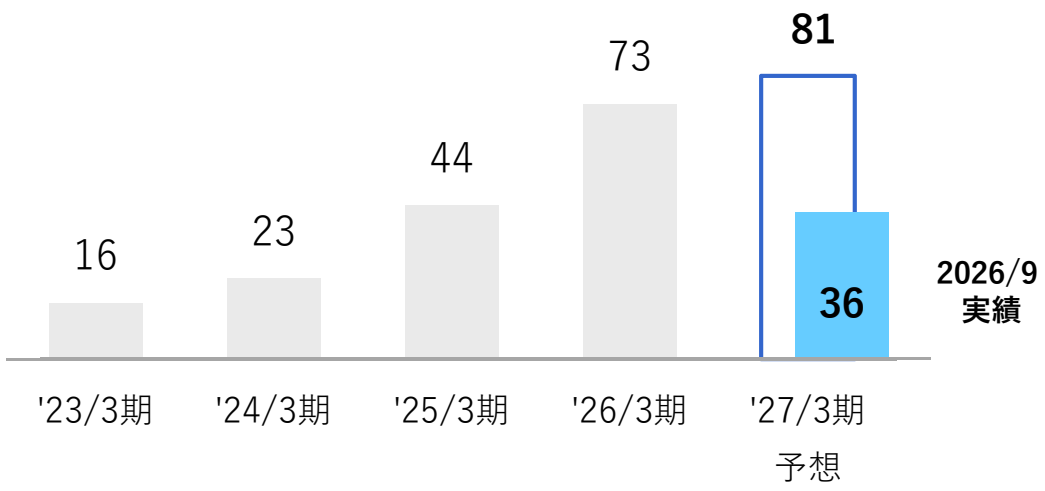
業績予想　単体

・2027年3月期第２四半期までの業績等を踏まえ、2027年3月期通期においても貸出金利息の増加等により資金利益が当初予想を上回る見込みとなったことから、2026年3月期決算発表時に公表した2027年3月期通期の業績予想を上方修正

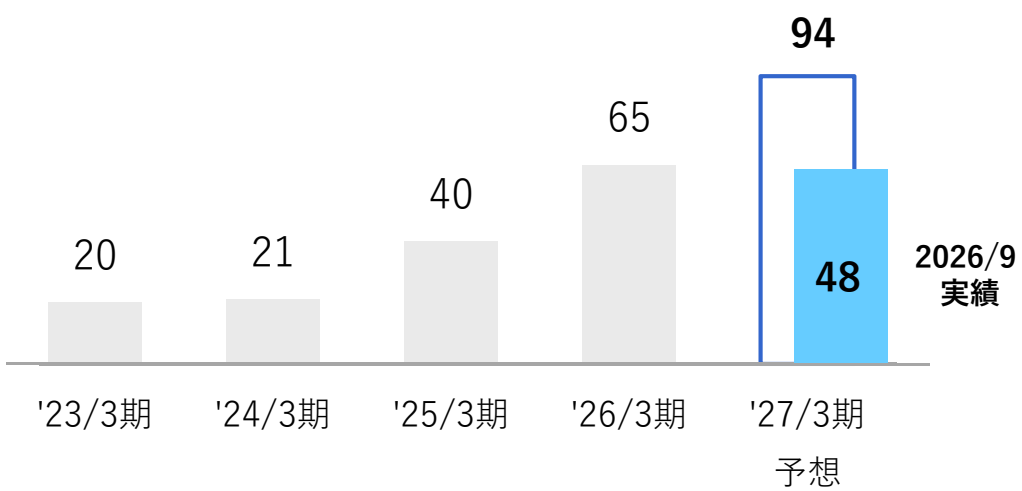
2026年11月10日公表　**＜2026年5月12日公表の当初予想から上方修正＞**

	2027年3月期 通期予想(当初)	**2027年3月期 通期予想(修正)**	2026年3月期 通期実績	前年同期比	増減率
経常利益	76億円	**81億円**	73億円	＋7億円	10.3%
当期純利益	66億円	**94億円**	65億円	＋28億円	42.6%

経常利益



当期純利益



・本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。